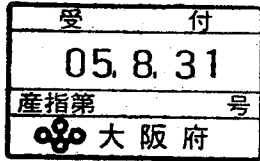


（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年8月31日

大阪府知事 殿



提出者

住 所 大阪府茨木市南耳原1丁目2番1号

氏 名 大和製罐株式会社 大阪工場
工場長 土屋 孝志

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 072-624-1331(代)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大和製罐株式会社 大阪工場
事業場の所在地	大阪府茨木市南耳原1丁目2番1号
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	24：金属製品製造業
②事業の規模	製品出荷額：2,293,215千円/年
③従業員数	226人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	汚泥
	排 出 量	3387.8 t	89.2 t
	(これまでに実施した取組) ・遠心脱水機の更新を行い、汚泥の減量化 ・一次処理で使用する薬品のpHを下げることで汚泥発生量を抑制		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	汚泥
	排 出 量	3500 t	90 t
	(今後実施する予定の取組) ・金属類の分別・排出見直しを行い、有償売却・再利用による減量化について取り組んでいく。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・既に実施中であり、種類毎の分別管理の推進を行う。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状の取り組みを継続し、分別(種類毎の表示、排出時の分別の指導徹底)を強化していく。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（ 年度）実績】			
廃油	動植物系廃油	金属くず	鉄くず
34.53 t	0.12 t	26.95 t	10.478 t
【目標】			
廃油	動植物系廃油	金属くず	鉄くず
30 t	0.12 t	25 t	10 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（ 年度）実績】			
廃プラスチック類	木くず	廃電気機械器具	ガラスくず
22.23 t	5.96 t	1.03 t	1.01 t
【目標】			
廃プラスチック類	木くず	廃電気機械器具	ガラスくず
20 t	6 t	1 t	1 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（ 年度）実績】			
水銀使用製品□（蛍光灯）	引火性廃油	—	—
0.06 t	37.29 t	— t	— t
【目標】			
水銀使用製品□（蛍光灯）	引火性廃油	—	—
0.5 t	35 t	— t	— t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	3218.41 t	— t
(これまでに実施した取組)			
・汚泥の脱水処理による減量化			
・加圧浮上槽で使用しているエア－を細かくする事で薬品使用量を削減し、汚泥の発生量を削減を行っている。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	3275 t	— t
(今後実施する予定の取組)			
・脱水期の更新に伴い、脱水率の向上を図る。			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
【前年度（ 年度）実績】			
廃油	動植物系廃油	金属くず	鉄くず
- t	- t	- t	- t
【目標】			
廃油	動植物系廃油	金属くず	鉄くず
- t	- t	- t	- t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（ 年度）実績】			
廃油	動植物系廃油	金属くず	鉄くず
- t	- t	- t	- t
- t	- t	- t	- t
【目標】			
廃油	動植物系廃油	金属くず	鉄くず
- t	- t	- t	- 25
- t	- t	- t	- 10

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
【前年度（ 年度）実績】			
廃プラスチック類	木くず	廃電気機械器具	ガラスくず
— t	— t	— t	— t
【目標】			
廃プラスチック類	木くず	廃電気機械器具	ガラスくず
— t	— t	— t	— t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（ 年度）実績】			
廃プラスチック類	木くず	廃電気機械器具	ガラスくず
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
【目標】			
		30	
廃プラスチック類	木くず	廃電気機械器具	ガラスくず
— t	— t	0 t	— t
— t	— t	0 t	— t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
【前年度（ 年度）実績】			
水銀使用製品□（蛍光灯）	引火性廃油	—	—
— t	— t	— t	— t
【目標】			
銀使用製品□（蛍光灯）	引火性廃油	—	—
— t	— t	— t	— t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（ 年度）実績】			
水銀使用製品□（蛍光灯）	引火性廃油	—	—
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
【目標】			
銀使用製品□（蛍光灯）	引火性廃油	—	—
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	汚泥
	全処理委託量	169.39 t	89.2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	169.39 t	89.2 t
	再生利用業者への処理委託量	169.39 t	89.2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
(これまでに実施した取組)			
<ul style="list-style-type: none"> 当工場は「分ければ資源、混ぜればゴミ」との方針のもと、委託する産廃業者についても再生利用(多用途原材料化・燃料化)をメインとした業者を選定しており、多少の処理費用増があっても再生利用に結びつく処分委託を行っている。 また、委託業者について順法精神にのっとり業務を行っているかを監視し、運搬/処分に関する許可証のチェック、マニフェストの返送状況の確認(1ヶ月超の場合は督促を実施)、定期的な処分場の現地確認を行っている。 			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
【前年度（ 年度）実績】			
廃油	動植物系廃油	金属くず	鉄くず
- t	- t	- t	- t
【目標】			
廃油	動植物系廃油	金属くず	鉄くず
- t	- t	- t	- t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
【前年度（ 年度）実績】			
廃油	動植物系廃油	金属くず	鉄くず
34.5 t	0.12 t	26.95 t	10.478 t
34.5 t	0.12 t	26.95 t	10.478 t
34.5 t	0.12 t	26.95 t	10.478 t
- t	- t	- t	0 t
- t	- t	- t	0 t

(第4面)

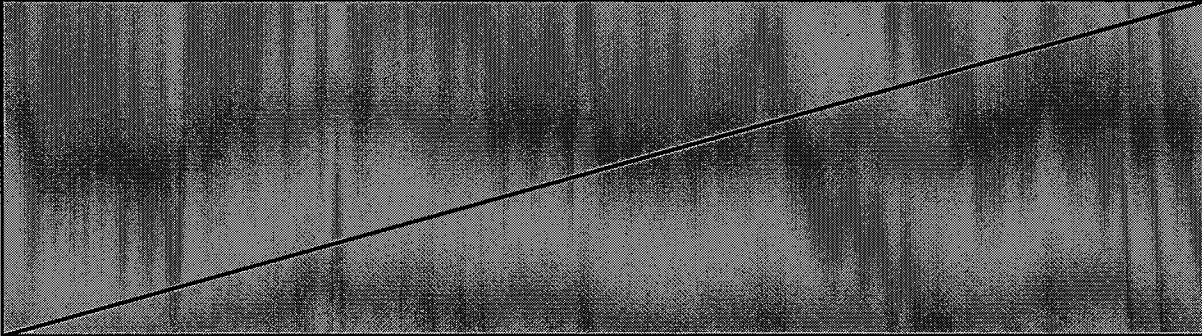
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
【前年度（ 年度）実績】			
廃プラスチック類	木くず	廃電気機械器具	ガラスくず
— t	— t	— t	— t
【目標】			
廃プラスチック類	木くず	廃電気機械器具	ガラスくず
— t	— t	— t	— t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
【前年度（ 年度）実績】			
廃プラスチック類	木くず	廃電気機械器具	ガラスくず
22.23 t	5.96 t	1.03 t	1.01 t
22.23 t	— t	1.03 t	— t
22.23 t	5.96 t	1.03 t	1.01 t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

(第4面)

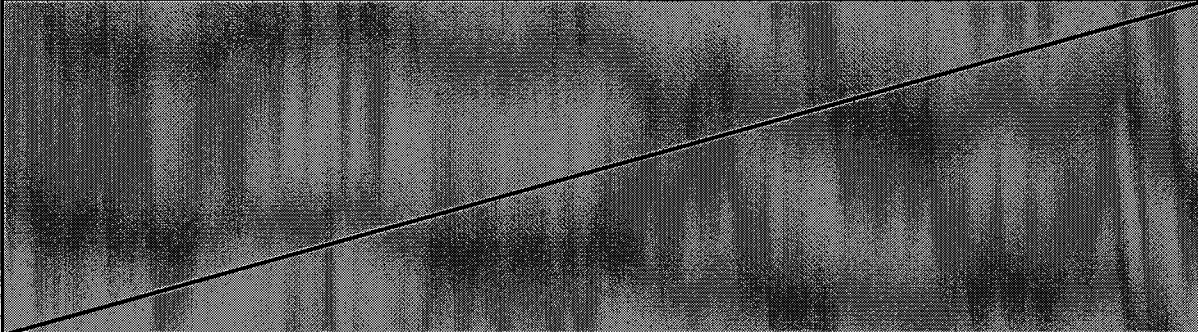
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
【前年度（ 年度）実績】			
水銀使用製品□（蛍光灯）	引火性廃油	—	—
— t	— t	— t	— t
【目標】			
銀使用製品□（蛍光灯）	引火性廃油	—	—
— t	— t	— t	— t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
【前年度（ 年度）実績】			
水銀使用製品□（蛍光灯）	引火性廃油	—	—
0.06 t	37.29 t	— t	— t
0.06 t	37.29 t	— t	— t
0.06 t	37.29 t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	汚泥
	全処理委託量	225 t	90 t
	優良認定処理業者への処理委託量	225 t	90 t
	再生利用業者への処理委託量	225 t	90 t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引続き、委託業者についての適正管理を行う。 ・また排出量の低減に向けて、委託業者からの前広な報収集を通じて、当工場に有用な廃棄物処理の方法について検討を継続する。 		
※事務処理欄			

【目標】			
廃油	動植物系廃油	金属くず	鉄くず
30 t	0.1 t	25 t	10 t
30 t	0.1 t	0 t	0 t
30 t	0.1 t	25 t	10 t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

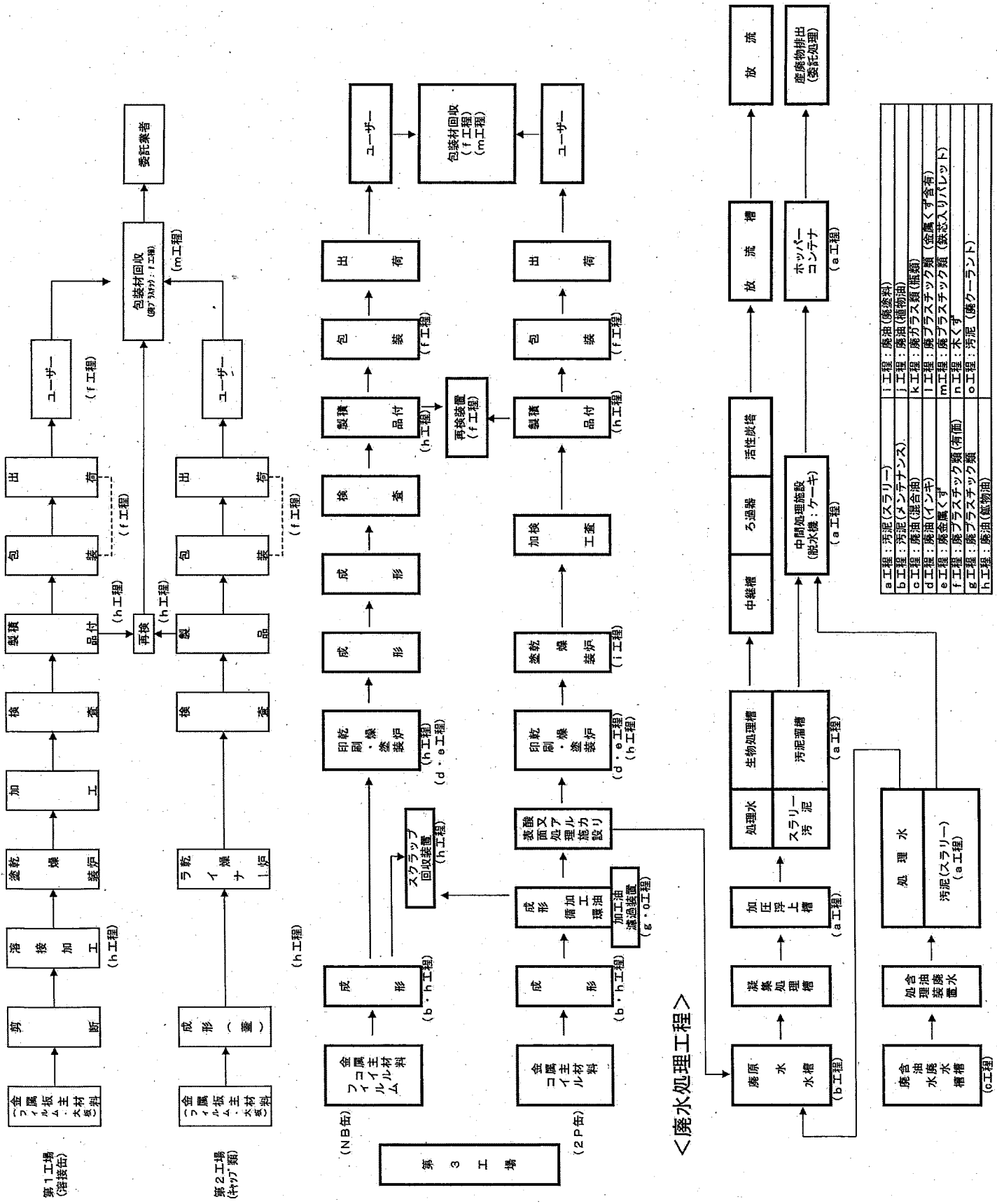


【目標】			
廃プラスチック類	木くず	廃電気機械器具	ガラスくず
20 t	6 t	1 t	1 t
15 t	0 t	1 t	0 t
20 t	6 t	1 t	1 t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t



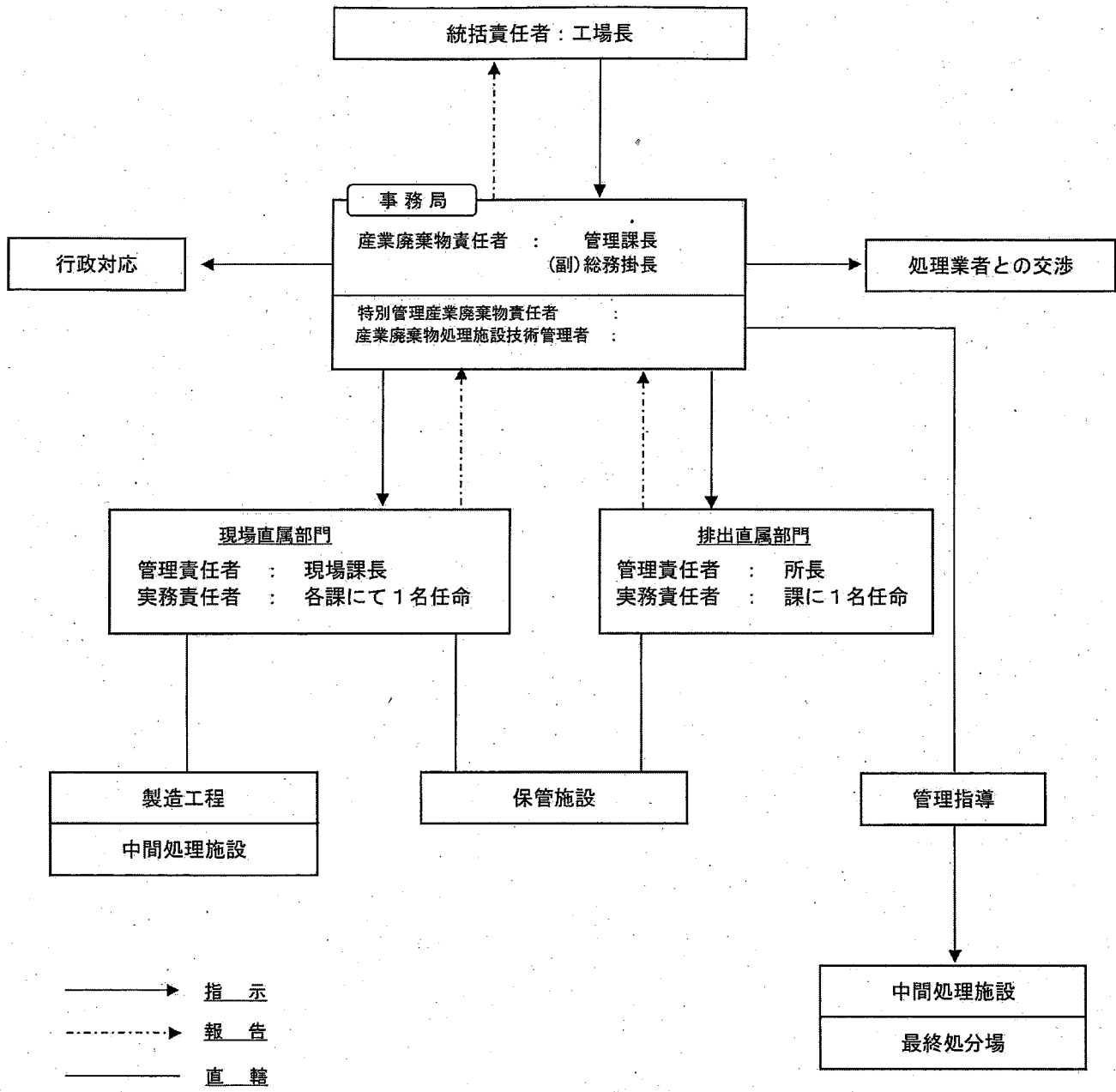
【目標】			
銀使用製品口 (蛍光灯)	引火性廃油	—	—
1 t	35 t	— t	— t
1 t	35 t	— t	— t
1 t	35 t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
[Redacted Content]			

【発生工程フローシート】



a工程	汚泥(スラリー)
b工程	汚泥(植物油)
c工程	汚泥(混合油)
d工程	汚泥(インキ)
e工程	廃金属くず
f工程	廃プラスチック類(有価)
g工程	廃プラスチック類
h工程	汚泥(植物油)
i工程	廃油(廃塗料)
j工程	汚泥(植物油)
k工程	廃プラスチック類(瓶類)
l工程	廃プラスチック類(金属くず含む)
m工程	廃プラスチック類(鉄芯入りハレット)
n工程	木くず
o工程	汚泥(廃クーランド)

産業廃棄物組織表



【各部の役割】

部 署	役 割
統括責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業廃棄物に関する円滑な運用 ・ 各部署間の調整及び指示 ・ 産業廃棄物の適正管理及び減量化等に対する取り組み ・ 産業廃棄物処理計画の策定及びその実施
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各部門からデータを取り纏め、帳表を作成し統括的に把握管理 ・ 産業廃棄物の発生工程、種類ごとの発生量、排出量のチェック集計 ・ 事業外の中間処理施設最終処分場の定期的査察（1回／年） ・ 行政に対する報告 ・ 処理業者委託の委託計画、委託料、マニフェスト等の管理 ・ 産業廃棄物の適正管理及び減量化等の社内啓発、教育 ・ 産業廃棄物処理計画の策定及び実施 ・ 上記内容を統括管理者へ報告
現場直属部門	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握記録の作成 ・ 各現場の施設の維持管理点検等 ・ 保管施設での保管量の把握 ・ 事業場内の中間処理施設の稼働状況の把握、記録の作成等 ・ 上記内容を事務局へ報告
排出管理部門	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握 ・ 保管施設での受け入れ、払い出し、保管量の把握、記録の作成 ・ 保管施設の維持管理点検等 ・ 上記内容を事務局へ報告